平成29年度 施策評価シート (平成28年度実績評価)

政策 07 信頼に応える行政運営

施策 02 組織経営と人事マネジメントの充実

主管課: 総務課

関係課:

1 施策の目的

対象(誰,何を対象としているか)	意図(どのような状態にしたいのか)
	社会環境の変化や多様なニーズに対応し、市民から信頼される組織・職員を目指す。

2 施策の成果状況 (意図の達成度を図る成果指標とその動向)

職員の仕事	ぶりに不清	満を感じていない市民	(%)	総務課				
基準値	(H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(H33)		
	87.40	84. 90	83. 90	84. 70	85. 50	88.00		
向上指針		上がると良い	(状況) 平成27年度に比べ1.0ポイント減少しましたが、およそ8割強の市民が、職員の付					
対前年度		横ばい	──ぶりに不満を感じていない状況です。 (原因)毎年,接遇や苦情対応研修,職場内研修等を実施しています。こうした取組を してきてはいますが,市民の評価が上がらない状況です。					
目標達成度	ξ	低						
次年度課題	[課題とする						

多様なニーズに	対応で	できる組織だと思っ	ている市民の割合		(%)	総務課			
基準値(H26	5)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(H33)			
!	59.80	57. (0 56. 80	59. 00	61. 20	68.00			
向上指針		上がると良い		比べ0.2ポイント減少し	-	フェム 助見が修め!			
対前年度		横ばい	─ (原因) 市民ニーズの多様化や地方分権等の行政環境の変化に対応するため、職員研事評価制度の活用等を積極的に行ってきましたが、評価を得られませんでした。						
目標達成度		低							
次年度課題		課題とする							

基準値	(H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(H33)
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度	Ę					
次年度課題	1					

3 施策に係るコスト(単位:千円)

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	決 算	決 算	決 算	予算	見込	
事業費合計	41, 941	41, 513	38, 191	42, 916	42, 827	
人件費	0	0	26, 909	0	0	
トータルコスト	41, 941	41, 513	65, 100	42, 916	42, 827	

4 基本事業の状況

甘土市世名社	_ _ = ++		作田长挿の割り		成果指標の動向		古田七栖の計点			事	業	費	
基本事業名称		(未)	H26年度	H27年度			H28年度	H29年度	H30年度				
01 柔軟で効率的な組織運営	横ば	低下				132	188	0	231	231			
02 適正な人事管理と人材育成	横ば	向上				41, 809	41, 325	38, 191	42, 685	42, 596			

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性(前年度の全庁政策会議での決定事項)

コ版十人のエババルのバドは、前十人のエバッス大五版でのバルデス		
新たな行政ニーズに対応できる組織の見直しや人員の確保に努めるとともに,組織内連携 の強化や研修等による人材育成を進め、効率的な組織運営を行っていきます。	成果方向性	向上
*フカは「NIP 中による人や自体とという,効やPIJなMMACE E E II ン (V C よう。	コスト方向性	維持

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

平成28年度は、定員適正化計画のもと、各課業務量調査やヒアリング等を踏まえ、新規職員の採用や再任用制度の継続、更には専門的な知識を擁する人材の継続確保等、新たな行政需要に対応するための人員確保に努め、質・量ともに適正な人員配置に努めることができました。次年度以降も新たな行政需要に対応した組織編成及び人員確保に努めるとともに、人材育成基本方針に基づき計画的、かつ効果的な研修メニューを選択し、市民ニーズに的確に応えられるよう職員の能力・質の向上に努めていきます。特に窓口サービスの改善を図るため、臨時・非常勤職員等含め接遇能力の向上に努めます。

推進状況	一部停滞あり
次年度への課題	課題あり
成果方向性	向上
コスト方向性	維持

次年度の方向性(当該年度の全庁政策会議での決定事項)

成果方向性	向上
コスト方向性	維持